

動物看護学科

動物看護コース

授業科目	生命倫理・動物福祉				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	動物園での、分類学に基づく動物の収集・展示。42年従事				
授業目的	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ				
達成目標	生命倫理・動物福祉について理解できる				
授業時間外に必要な学修	動物園や植物園で、展示生物の分類学的な理解をする。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	生命倫理の概念・生命誕生				
2回	進化分・類学概論				
3回	動物福祉の考え方・「5つの自由」				
4回	動物愛護運動(日本と世界)				
5回	動物福祉、動物の権利思想や課題、動物福祉の生理学的、行動学的指標				
6回	安楽死				
7回	愛玩動物の福祉、適正飼養と福祉上の問題				
8回	国内外の動物保護活動の現状と課題、災害時の対応				
9回	動物虐待				
10回	産業動物の福祉、産業動物の福祉上の問題				
11回	産業動物の国際的福祉基準、福祉向上に向けて				
12回	実験動物の福祉、実験動物の福祉上の問題				
13回	3R(代替)(削除)(改善)の具体的方法				
14回	展示動物の福祉、展示動物の福祉上の問題、環境エンリッチメント				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物形態機能学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次 (通年)	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事（獣医師）				
授業目的	動物の生命体としての細胞、組織、臓器レベルで理解し、病的変化を学ぶ。				
達成目標	動物の体の構造と機能を理解修得する。				
授業時間外に必要な学修	日常、身近な動物に触れて、健康な動物の体型等を理解しておく				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック（10%）、小テスト（10%）、期末試験（70%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物固体の発生等	16回	動物の循環器		
2回	動物固体の発生等	17回	動物の心臓		
3回	動物細胞の構造等	18回	動物の血管系		
4回	動物細胞の構造等	19回	動物のリンパ管系		
5回	動物細胞の分裂等	20回	動物の呼吸器構造		
6回	動物細胞の分裂等	21回	動物の骨形状。構造等		
7回	遺伝子の仕組み等	22回	動物のガス交換・ミニテスト①		
8回	遺伝子の仕組み等 ミニテスト①	23回	動物の消化管		
9回	細胞膜の役割等	24回	動物の上部消化管		
10回	細胞膜の役割等	25回	動物の下部消化管		
11回	神経組織の役割	26回	動物の消化腺		
12回	神経組織・中枢神経	27回	動物の肝臓・膵臓		
13回	神経組織・末梢神経	28回	動物の栄養物の消化吸収		
14回	結合組織ミニテスト②	29回	動物種の消化吸収・ミニテスト②		
15回	期末試験・まとめ・振り返り	30回	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物形態機能学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次 (通年)	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事（獣医師）				
授業目的	動物の生命体としての細胞、組織、臓器レベルで理解し、病的変化を学ぶ。				
達成目標	動物の体の構造と機能を理解修得する。				
授業時間外に必要な学修	日常、身近な動物に触れて、健康な動物の体型等を理解しておく				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック（10%）、小テスト（10%）、期末試験（70%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の内分泌系等	16回	動物の運動器・骨の構造		
2回	動物の視床下部・下垂体	17回	動物の骨格系		
3回	動物の甲状腺・副腎	18回	動物の関節		
4回	動物のその他の内分泌系等	19回	動物の横隔膜		
5回	動物の泌尿器系等	20回	動物の血液と成分		
6回	動物の尿路系等	21回	動物の血液凝固		
7回	動物の尿・ミニテスト①	22回	動物の生体防御		
8回	動物の脳と神経	23回	動物の生体防御		
9回	動物の神経系	24回	動物の生体防御・ミニテスト①		
10回	動物の中樞神経系（脳）	25回	動物の皮膚の基本構造		
11回	動物の中樞神経系（脊髄）	26回	動物の皮膚の付属器		
12回	動物の末梢神経系	27回	動物の体温調節機構等		
13回	動物の体性神経系等	28回	動物の視覚・聴覚		
14回	動物の反射・ミニテスト②	29回	動物の嗅覚・味覚ミニテスト②		
15回	期末試験・まとめ・振り返り	30回	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物繁殖学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(後期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイほかの希少野生動物の繁殖に取り組む。その内の数種については、国内動物園初の繁殖。42年従事				
授業目的	動物の繁殖生理学、行動学等について学び、飼育下での繁殖について、環境の条件などを考える。				
達成目標	繁殖の生物学を学び、愛玩動物や野生動物を繁殖させる技術を学ぶ。また、遺伝学的に適切な子孫について学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	メディアを通じて、希少動物の飼育下繁殖により、どのように種の保存が図られているかを知る。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	哺乳類の進化/遠藤秀紀/東京大学出版会				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	無性生殖と有性生殖				
2回	減数分裂				
3回	精子形成・卵子形成				
4回	排卵の生理学的しくみ				
5回	受精				
6回	発生				
7回	出産				
8回	着床遅延をする動物とその意義				
9回	性転換をする動物とその意義				
10回	配偶行動				
11回	子育てのいろいろな方法①				
12回	子育てのいろいろな方法②				
13回	肉食動物の繁殖戦略				
14回	草食動物の繁殖戦略				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物行動学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次後期	必修	座学	1
担当教員	菊地三恵				
実務経験歴	大学、専門学校での動物行動学、生命倫理・福祉、人と動物の関係学の講義、動物病院での問題行動コンサルティング、パピークラスなど				
授業目的	動物病院で来院が多い犬猫の習性や種類、特性と社会化やどのように学習するかを習得する。				
達成目標	動物病院に来院する犬や猫について行動学的見地から適切に判断できる基礎知識を養う。				
授業時間外に必要な学修	テキストの通覧と配布資料を理解する				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	出席率10%、日常態度(提出物を含む)10%、定期試験80%				
授業内容とスケジュール					
1回	動物行動学とは I : 英国の人々と動物への接し方				
2回	動物行動学とは : 行動学的アプローチ(心のケア)、行動学の歴史と4つの問い				
3回	動物の維持行動 : 摂食行動、飲水行動、身づくろい行動、護身行動				
4回	犬の行動の発達 I : 発育段階と社会化について				
5回	犬の行動の発達 II : 社会化動画、実践				
6回	猫の行動の発達 : 発育段階と社会化について				
7回	犬のコミュニケーション I : 視覚使ったのコミュニケーション				
8回	犬のコミュニケーション II : 嗅覚、聴覚を使ったのコミュニケーション				
9回	猫のコミュニケーション I : 視覚、嗅覚、聴覚を使ったのコミュニケーション				
10回	猫のコミュニケーション II : 嗅覚、聴覚を使ったのコミュニケーション				
11回	トレーニングの理論と応用 I : 古典的条件付け、オペラント条件付けとは				
12回	トレーニングの理論と応用 II : 古典的条件付け、オペラント条件付けの応用				
13回	トレーニングの理論と応用 III : 一次強化子、二次強化子について、使い方				
14回	トレーニングの理論と応用 IV : 馴化、感作、脱感作				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物行動学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次前期	必修	座学	1
担当教員	菊地三恵				
実務経験歴	大学、専門学校での動物行動学、生命倫理・福祉、人と動物の関係学の講義、動物病院での問題行動コンサルティング、パピークラスなど				
授業目的	動物行動学Ⅰの基礎を生かし、具体例、症例を用いながら応用力を養う				
達成目標	パピークラスの実践、犬猫の問題行動へのアドバイスができる知識、技術を身に付ける。				
授業時間外に必要な学修	テキストの通覧と関係資料として動画を閲覧する				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	出席率10%、日常態度(提出物を含む)10%、定期試験80%				
授業内容とスケジュール					
1回	社会化のクラスの進め方				
2回	パピークラスの進め方				
3回	パピークラスに必要な項目(おすわり、フセ、立て、マテ、呼び戻し、物を放す、つけ他)				
4回	パピークラス1～2週目				
5回	パピークラス3～4週目				
6回	パピークラス5～6週目				
7回	クリックートレーニングとは				
8回	問題行動の治療Ⅰ：問題行動とは、問題行動の治療とは、トレーニングとの違い				
9回	問題行動の治療Ⅱ：よく起こる問題行動(欧米と日本の違い)、対処法				
10回	問題行動の治療Ⅲ：子犬によく起こる問題行動				
11回	問題行動の治療Ⅳ：犬の攻撃行動と対処				
12回	問題行動の治療Ⅴ：犬の恐れ、不安、恐怖症に関する問題行動と対処				
13回	問題行動の治療Ⅵ：犬の排泄に関する問題行動、異常行動と対処				
14回	問題行動の治療Ⅶ：猫の問題行動と対処				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物栄養学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1単位
担当教員	豊後 貴嗣				
実務経験歴	関連分野に対する多年教授歴を有する				
授業目的	基礎栄養学を学ぶとともに、動物病院で活用・実践できる臨床栄養学を修得する。				
達成目標	対象動物に合うペットフードの提案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修	市場にあるペットフードを知り、また飼育動物の嗜好性などを観察、把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物栄養学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション				
2回	六大栄養素①				
3回	六大栄養素②				
4回	犬・猫の必要栄養素の違い				
5回	ライフステージ①				
6回	ライフステージ②				
7回	BCS、カロリー計算				
8回	フードのタイプと適応				
9回	ペットフードの表記を読み取る				
10回	総合栄養食と特別療法食の違い				
11回	特別療法食①(下部尿路疾患、皮膚疾患)				
12回	特別療法食②(肥満、下痢、便秘)				
13回	特別療法食③(心臓病、慢性腎不全、肝臓病、糖尿病、関節疾患)				
14回	前期まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床栄養学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	講義	1単位
担当教員	大内 義光				
実務経験歴	岡山理科大学獣医学部獣医学科助教授、関連分野に対する多年教授歴を有する				
授業目的	基礎栄養学を学ぶとともに、動物病院で活用・実践できる臨床栄養学を修得する。				
達成目標	対象動物に合うペットフードの提案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修	市場にあるペットフードを知り、また飼育動物の嗜好性などを観察、把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物栄養学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	六大栄養素				
2回	犬・猫の必要な栄養素の違い、ライフステージ				
3回	B C S 評価、カロリー計算				
4回	フードのタイプ、ペットフードの表記				
5回	特別療法食①（下部尿路疾患）				
6回	特別療法食②（皮膚疾患）				
7回	特別療法食③（肥満）				
8回	特別療法食④（下痢、便秘）				
9回	特別療法食⑤（心臓病、慢性腎不全）				
10回	特別療法食⑥（肝臓病、糖尿病）				
11回	特別療法食⑦（関節疾患）				
12回	特別療法食の使い分け				
13回	手作りフード				
14回	前期まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	比較動物学（産業動物）				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	産業動物の歴史や品種、主要家畜の飼養管理法、畜産業の実際および家畜の監視伝染病について学修する。				
達成目標	産業動物と人の社会生活との関わりを理解する。 産業動物の器官や特徴を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキスト、配布プリントを利用して、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第2巻/緑書房編集部編/緑書房、配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	牛の歴史と品種				
2回	牛の形態学的特徴と繁殖				
3回	牛の飼養と疾病				
4回	豚の歴史と品種				
5回	豚の形態的特徴と繁殖				
6回	豚の飼養と疾病				
7回	鶏の歴史と品種				
8回	鶏の形態的特徴と繁殖				
9回	鶏の飼養と疾病				
10回	羊・山羊の歴史、品種と形態的特徴				
11回	羊・山羊の飼養、繁殖と疾病				
12回	馬の歴史、品種、形態的特徴、飼養と疾病				
13回	産業動物の器官の比較、畜産業の実態				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	比較動物学（野生・展示動物学）				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(後期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	生態系を理解して野生動物の生物学を学ぶ。また、人間と野生動物の関係を考える。				
達成目標	生物の共生関係を理解して、生物多様性の保全の大切さ、人との関係について学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	環境破壊など、野生動物と人の関係について、いろいろなメディアを通じて情報を集めて、解決法などを考える。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	生物多様性/本川達雄/中央公論新社				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	生態系				
2回	バイオーム				
3回	サンゴ礁① サンゴの分類学				
4回	サンゴ礁② サンゴと褐虫藻の共生				
5回	サンゴ礁③ 生態系				
6回	サンゴ礁④ 白化問題と環境破壊				
7回	日本で絶滅した動物				
8回	コウノトリ① 日本での絶滅とその原因				
9回	コウノトリ② 海外との協力による飼育下繁殖				
10回	コウノトリ③ 野生復帰の過程				
11回	ツシマヤマネコの野生での現状				
12回	ツシマヤマネコの種の保存の取組				
13回	ツシマヤマネコの野生復帰計画				
14回	種の保存法に基づく保全活動				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	比較動物学（実験動物学）				
	対象学科	開講時間	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・実習	3
担当教員	矢田範夫（岡山大学） 後期の実習のうち1回は手技の指導によ定評のある講師を招聘する予定				
実務経験歴	矢田は大学動物実験施設に28年勤務し、施設保全、飼育管理、実技支援、スタッフの管理統括のほか、動物実験計画の倫理審査業務に従事。				
授業目的	生命科学研究において動物実験は避けて通れない方法論である。だが生命を扱うという自覚を忘れてはならない。本講義・実習を通じて実験動物の科学的かつ倫理的取り扱いの重要性を学び、適正な動物実験の一翼を担う技術者となるための基礎知識を身につける。				
達成目標	実験動物の遺伝的・微生物学的統御、生理・解剖等を理解し、実験動物2級技術者試験に合格できる知識・技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	岡山大学でのインターンシップ研修への参加を推奨する。				
テキスト	「実験動物の技術と応用 入門編」（日本実験動物協会 編・株式会社アドスリー 刊） 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」環境省動物愛護管理室編・株式会社アドスリー（刊）				
参考書	「アニマルマネジメント」Ⅰ～Ⅲ（笠井一弘 著・株式会社アドスリー 刊）				
成績評価(割合)	出席・受講態度50%、定期試験50%（択一式、小論文形式）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物実験と社会(テキストI)	16回	講義・実習①ケージ交換、給水管理		
2回	施設と環境(テキストVII)・飼育と衛生(テキストVI)	17回	講義・実習②雌雄判別、個体識別		
3回	栄養と飼料(テキストV)	18回～19回	講義・実習③保定・投与(腹腔内・経口)		
4回	解剖と生理(テキストII)	20回～23回	講義・実習④解剖		
5回	解剖と生理(テキストII)	24回	講義⑥尾静脈採血		
6回	病気と感染(テキストVIII)	25回～26回	実習⑥尾静脈採血		
7回	遺伝と育種(テキストIII)	27回～29回	講義・実習⑦卵子・精子の採取と観察		
8回	繁殖(テキストIV)	30回～31回	講義・実習⑧性周期の観察		
9回	動物実験の基本(テキストIX)	32回～34回	講義・実習⑨安楽死		
10回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	34回～35回	講義 実験動物の倫理的取り扱い(実践編)		
11回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	36回～37回	講義 動物実験計画書と動物実験の機関内管理		
12回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	38回～40回	講義 麻酔法		
13回	実験動物の福祉(総論)	41回～43回	講義 周術期管理		
14回	実験動物の福祉(各論)	44回	講義 実験動物技術者のキャリアパス		
15回	実験動物の福祉(各論)	45回	定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	法規について学んで、将来の職業人としてのコンプライアンスの重要性を認識する。また、多発する動物関連事件について、その法的理解をする。				
達成目標	各法律等について学び、法律により動物たちや私たち、また、自然界が保護されていることを学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	多発する動物に関連する事件についてメディアから情報を集め、事件の本質について考える。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の愛護及び管理に関する法律				
2回	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約				
3回	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律				
4回	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の敵視化に関する法律				
5回	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
6回	特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約				
7回	生物多様性基本法				
8回	定期試験・まとめ・総評				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備考					

授業科目	動物看護関連法規				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1
担当教員	福田 伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	動物看護に関連する基本的な法規について学修する。				
達成目標	社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキスト、配布プリントを利用して、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第3巻/緑書房編集部編/緑書房、配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験(100%)で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	法の体系、動物医療と愛玩動物看護師				
2回	愛玩動物看護師法、獣医師法、獣医療法				
3回	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
4回	狂犬病予防法、家畜伝染病予防法				
5回	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律、麻薬及び向精神薬取締法				
6回	毒物及び劇物取締法、覚醒剤取締法、薬剤師法				
7回	全体のまとめ				
8回	期末試験・まとめ・総評				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備考					

授業科目	動物看護学概論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義	1
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物看護師の歴史について学ぶ				
達成目標	動物看護師について他人に自信を持って説明できるようになる				
授業時間外に必要な学修	講義中疑問に思ったことについて各自調べ、考察する				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（9割）・授業態度（1割）				
授業内容とスケジュール					
1回	看護とは・動物看護とは				
2回	動物看護と倫理				
3回	動物の健康、福祉、QOL				
4回	インフォームドコンセント				
5回	動物病院について				
6回	動物看護師と獣医師、動物看護の職域				
7回	動物看護技術、動物看護記録、動物看護と社会、動物看護の実際				
8回	獣医療の歴史、動物看護過程				
9回	動物看護師の仕事、動物看護と法律				
10回	動物看護資格、動物看護と国家試験				
11回	欧米の動物看護師				
12回	動物看護師の仕事				
13回	動物看護師の1日				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物病理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事（獣医師）				
授業目的	動物疾病の中で、様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化、病態について学ぶ。				
達成目標	動物疾病の成り立ちと回復、促進に関する知識を修得する。				
授業時間外に必要な学修	日頃から、身近にいる動物の健康状態を観察しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック（10%）、小テスト（10%）、期末試験（70%） 学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物病理学とは何か				
2回	疾病による生体反応と成り立ち				
3回	疾病による生体の回復力				
4回	疾病による細胞、組織に生じる変化				
5回	疾病による細胞増殖と修復				
6回	疾病による循環傷害①水腫・充血とうっ血				
7回	疾病による循環障害②出血と止血等・ミニテスト				
8回	疾病による炎症①原因と役割等				
9回	疾病による炎症②急性炎症				
10回	疾病による炎症③慢性炎症				
11回	疾病による免疫反応				
12回	疾病による免疫応答の異常				
13回	腫瘍とは何か				
14回	先天異常・ミニテスト				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物薬理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	加計 悟 ・ 山岡 弘二				
実務経験歴	【加計】 獣医師 【山岡】 食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事(獣医師)				
授業目的	動物疾病の診断、治療に用いる薬物の体内動態と作用機序、臨床応用、副作用等を学ぶ。				
達成目標	動物疾病の成り立ちと回復に寄与する薬物の知識を修得する				
授業時間外に必要な学修	日常から薬局等で購入したみじかな薬物について、その薬理作用等を調べておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック(10%)、小テスト(10%)、期末試験(70%) 学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	薬物治療の概念	16回	神経作用薬①中枢神経薬		
2回	薬物の取り扱い	17回	神経作用薬②末梢神経薬		
3回	薬物治療の目的	18回	呼吸器作用薬		
4回	薬理作用	19回	循環器作用薬①血管拡張薬		
5回	薬物動態	20回	循環器作用薬②強心薬		
6回	薬用量の計算方法	21回	循環器作用薬③抗不整脈薬		
7回	消毒薬・ミニテスト	22回	泌尿器利尿薬・ミニテスト		
8回	殺虫薬	23回	消化器作用薬①制吐薬等		
9回	抗菌薬①βラクタマーゼ系薬等	24回	消化器作用薬②止瀉薬等		
10回	抗菌薬②テトラサイクリン系薬	25回	消化器作用薬③肝疾患薬		
11回	抗真菌薬	26回	内分泌薬①オータコイド等		
12回	駆虫薬	27回	内分泌薬②ステロイドホルモン等		
13回	抗腫瘍薬①種類等	28回	血液作用薬		
14回	抗腫瘍薬②作用等、ミニテスト	29回	免疫系作用薬・ミニテスト		
15回	期末試験・まとめ・振り返り	30回	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物感染症学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	細菌、真菌、ウイルス、プリオンおよび寄生虫・原虫の分類と特徴について学修する。				
達成目標	微生物、寄生虫の基礎を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第3巻/緑書房編集部編/緑書房，配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	微生物とは何か				
2回	微生物学の歴史				
3回	細菌の分類、形態、構造				
4回	細菌の増殖と病原性				
5回	ウイルスの分類、形態、構造				
6回	ウイルスの増殖と病原性、変異				
7回	真菌の分類、形態、構造				
8回	真菌の増殖と病原性				
9回	プリオン病				
10回	蠕虫類の分類、形態、生活環				
11回	原虫の分類、形態、生活環				
12回	衛生動物の分類、形態、生活環				
13回	寄生虫の感染経路、伝播様式，駆虫薬・駆虫剤の使用法				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物感染症学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	動物感染症の感染経路と伝播様式、感染症の予防法、犬・猫の主な感染症、産業動物・実験動物・エキゾチックアニマルの主な感染症について学修する。				
達成目標	感染症の感染経路，予防法などの感染症対策の基礎を理解する。 動物の主な感染症について理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第3巻/緑書房編集部編/緑書房，配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物感染症の感染経路と伝播様式				
2回	感染症の成立要因				
3回	感染症の予防と対策				
4回	犬・猫の主な細菌感染症①				
5回	犬・猫の主な細菌感染症②				
6回	犬・猫の主なウイルス感染症①				
7回	犬・猫の主なウイルス感染症②				
8回	犬・猫の主なウイルス感染症③				
9回	犬・猫の主な真菌感染症				
10回	犬・猫の主な寄生虫感染症①				
11回	犬・猫の主な寄生虫感染症②				
12回	産業動物の主な感染症				
13回	実験動物・エキゾチックアニマルの主な感染症				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物感染症学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	感染症の消毒法、免疫とアレルギー疾患、ワクチンの種類と接種プログラム、微生物・寄生虫検査法について学修する。				
達成目標	感染症の消毒法、検査法について理解する。 感染症防御に関する免疫の基礎について理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第3巻/緑書房編集部編/緑書房，配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	感染症における消毒法、滅菌法				
2回	院内感染と予防対策（薬剤耐性菌）				
3回	免疫担当細胞とその役割				
4回	自然免疫と獲得免疫				
5回	アレルギーの分類と免疫疾患①				
6回	アレルギーの分類と免疫疾患②				
7回	ワクチンの原理と種類				
8回	ワクチンの接種プログラム				
9回	微生物検査におけるバイオセーフティ				
10回	細菌検査法				
11回	ウイルス検査法				
12回	寄生虫検査法				
13回	真菌検査法、薬剤感受性試験，PCR法				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	公衆衛生学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	食品衛生、環境衛生、疫学および人獣感染症について学修する。				
達成目標	公衆衛生の基本的な内容を理解し、人の健康維持・増進や疾病予防へ応用できる。				
授業時間外に必要な学修	テキスト、配布プリントを利用して、単元ごとの内容を予習復習する。 社会生活における健康維持に関する制度や仕組みに日頃から興味を持ち、新聞等を利用して考察をする。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第3巻/緑書房編集部編/緑書房，配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	公衆衛生の目的	16回	環境衛生と環境問題		
2回	公衆衛生活動と動物衛生関連分野	17回	水の衛生		
3回	国民衛生の動向	18回	廃棄物問題		
4回	疫学の研究方法	19回	病原体等に関する安全対策		
5回	公衆衛生行政	20回	動物感染症とヒト		
6回	食品の安全確保のための行政	21回	細菌による人獣共通感染症		
7回	食中毒の分類	22回	細菌、真菌による人獣共通感染症		
8回	微生物性食中毒①	23回	ウイルスによる人獣共通感染症①		
9回	微生物性食中毒②	24回	ウイルスによる人獣共通感染症②		
10回	寄生虫性食中毒	25回	寄生虫による人獣共通感染症①		
11回	自然毒食中毒	26回	寄生虫による人獣共通感染症②		
12回	動物性食品の衛生	27回	狂犬病予防の重要性		
13回	食品衛生管理	28回	疫学と感染症対策		
14回	全体のまとめ	29回	全体のまとめ		
15回	期末試験・振り返り・総括	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物内科看護学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年生（後期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	田中 里香・民井 泉希・初島 明香・竹口 真梨				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得後、小動物臨床に従事 【民井】 愛玩動物看護師 【初島】 愛玩動物看護師 【竹口】 愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸血、輸液などについて理解する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験100%				
授業内容とスケジュール					
1回	健康の保持・増進ハンドリング・デンタルケア				
2回	薬剤の取り扱い				
3回	薬剤の取り扱い				
4回	投薬に関わる技術				
5回	投薬に関わる技術				
6回	輸液に関わる技術				
7回	輸液に関わる技術				
8回	輸液に関わる技術				
9回	輸液に関わる技術				
10回	輸液に関わる技術				
11回	神経学的検査				
12回	神経学的検査				
13回	マイクロチップの知識・技術				
14回	前期授業内容に基づくまとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物内科看護学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年生（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香・初島 明香				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得、小動物臨床に従事 【初島】 愛玩動物看護師、動物病院にて勤務				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸血、輸液などについて理解する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験70%、実習30%				
授業内容とスケジュール					
1回	1年次の振り返り		16回	放射線（X線）について、X線装置の基本原理	
2回	検査、処置に必要な技術・応用①		17回	放射線の単位、性質、X線に必要な機械・機材	
3回	検査、処置に必要な技術・応用②		18回	X線撮影法（ポジショニング、用語、撮影の実際、造影検査）	
4回	検査、処置に必要な技術・応用③		19回	画像処理（アナログ・デジタル処理）	
5回	検査、処置に必要な技術・応用④		20回	CT装置、MRI装置の基本原理、検査の実際	
6回	心電図と血圧に関わる技術①		21回	放射線防護の知識（防護の三原則、測定器）	
7回	心電図と血圧に関わる技術②		22回	超音波検査・内視鏡検査	
8回	心電図と血圧に関わる技術③		23回	診療補助に必要な技術（衛生管理・具体的な業務内容）	
9回	神経学的検査に関わる技術・応用①		24回	身体検査（各器目録の評価・ノーズメント項目・子犬と子猫の全身評価）	
10回	神経学的検査に関わる技術・応用②		25回	動物種ごとの適切な接し方・保定	
11回	神経学的検査に関わる技術・応用③		26回	検査・処置に必要な技術（注射器・各種カテーテル・酸素吸入等）	
12回	神経学的検査に関わる技術・応用④		27回	輸液・輸血管理、血管確保について	
13回	眼科検査に関わる技術・応用①		28回	各検査ごとに対応した保定法	
14回	眼科検査に関わる技術・応用②		29回	まとめ	
15回	期末試験・まとめ・振り返り		30回	期末試験・まとめ・振り返り	
備考					

授業科目	動物外科看護学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年生（通年）	必修	講義	2
担当教員	田中 里香・外山 朋子・竹口 真理				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得、小動物臨床に従事 【外山】 愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務 【竹口】 動物病院に勤め医療に従事、愛玩動物看護師				
授業目的	外科診療の補助、看護について学び、安全な周術期管理を修得する。				
達成目標	基礎的な周術期管理を迅速かつ安全、正確に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	日常的に動物を観察し、動物の正常な状態を把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	asbook周術期の動物看護パーフェクトナビ/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
16回	講義について				
17回	救急救命・エマージェンシーの原因と病態				
18回	救急救命 ショックについて				
19回	救急救命・心肺蘇生				
20回	麻酔前評価				
21回	麻酔前検査				
22回	麻酔薬の種類と主義				
23回	麻酔管理項目				
24回	麻酔投与（前投与、導入、覚醒） 1				
25回	麻酔投与（前投与、導入、覚醒） 2				
26回	麻酔中管理 各種モニター 1				
27回	麻酔中管理 各種モニター 2				
28回	麻酔中記録				
29回	講義まとめ				
30回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物外科看護学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子・近藤 洋司・田中 里香・初島 明香				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院に従事 【近藤】獣医師免許取得、獣医療に従事 【田中】獣医師免許取得、小動物臨床に従事 【初島】愛玩動物看護師、動物病院にて勤務				
授業目的	外科診療の補助、看護について学び、安全な周術期管理を修得する。				
達成目標	基礎的な周術期管理を迅速かつ安全、正確に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	日常的に動物を観察し、動物の正常な状態を把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房 動物看護実習テキスト第3版 エデュワードプレス				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験(100%)				
授業内容とスケジュール					
1回	創傷管理と包帯法①	16回	前期振り返り		
2回	創傷管理と包帯法②	17回	手術関連業務①		
3回	術前準備①(手続き等)	18回	手術関連業務②		
4回	術前準備②(器具・機材①)	19回	術前術後の看護		
5回	術前準備③(器具・機材②)	20回	理学療法①		
6回	術前準備④(当日準備①)	21回	理学療法②		
7回	術前準備⑤(当日準備②)	22回	骨折・脱臼の管理①		
8回	麻酔管理の補助①	23回	骨折・脱臼の管理②		
9回	麻酔管理の補助②	24回	救命救急①		
10回	術中補助	25回	救命救急②		
11回	術後管理①	26回	救命救急③		
12回	術後管理②	27回	主な手術について		
13回	演習①	28回	講義まとめ		
14回	演習②	29回	講義まとめ		
15回	前期筆記試験・振り返り・総評	30回	後期筆記試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物臨床看護学総論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。				
達成目標	事例に合った動物看護過程の展開、正確な動物看護記録が作成できるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の情報の伝達など、チームを意識した動物飼育管理を行う。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物看護過程/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物看護師の業務について知る				
2回	チーム医療				
3回	動物看護過程①				
4回	動物看護過程②（事例に沿って計画作成）				
5回	動物看護記録①				
6回	動物看護記録②（事例に沿って記録作成）				
7回	動物看護におけるリスクマネジメント				
8回	幼齢動物看護①（食事・飼育環境・予防）				
9回	幼齢動物看護②（疾患）				
10回	高齢動物看護①（変化・食事・飼育環境）				
11回	高齢動物看護②（疾患）				
12回	高齢動物看護③（介護・褥瘡）				
13回	ターミナルケア、エンジェルケア				
14回	グリーンケア、まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床看護学各論 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	様々な疾患の病態生理を理解し、引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。それらの動物に対して動物看護師として見るべきポイントを学び、看護の方法を修得する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
成績評価(割合)	筆記試験 80%、学習態度 20%				
授業内容とスケジュール					
1回	徴候や疾患の理解と対処①		16回	消化器疾患③	
2回	徴候や疾患の理解と対処②		17回	消化器疾患④	
3回	特異的徴候		18回	消化器疾患⑤	
4回	循環器疾患①		19回	腎・泌尿器疾患①	
5回	循環器疾患②		20回	腎・泌尿器疾患②	
6回	循環器疾患③		21回	腎・泌尿器疾患③	
7回	呼吸器疾患①		22回	内分泌器疾患①	
8回	呼吸器疾患②		23回	内分泌器疾患②	
9回	呼吸器疾患③		24回	内分泌器疾患③	
10回	口腔疾患①		25回	生殖器疾患①	
11回	口腔疾患②		26回	生殖器疾患②	
12回	口腔疾患③		27回	生殖器疾患③	
13回	消化器疾患①		28回	整形外科疾患①	
14回	消化器疾患②		29回	整形外科疾患②	
15回	前期筆記試験・振り返り・総評		30回	後期筆記試験・振り返り・総評	
備考					

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物にたいしてどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。				
達成目標	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
成績評価(割合)	筆記試験80%、学習態度20%				
授業内容とスケジュール					
1回	整形外科疾患①		16回	前期復習	
2回	整形外科疾患②		17回	アレルギー、免疫介在性疾患①	
3回	整形外科疾患③		18回	アレルギー、免疫介在性疾患②	
4回	整形外科疾患④		19回	アレルギー、免疫介在性疾患③	
5回	神経系疾患①		20回	血液、造血器系疾患①	
6回	神経系疾患②		21回	血液、造血器系疾患②	
7回	神経系疾患③		22回	血液、造血器系疾患③	
8回	眼の疾患①		23回	中毒①	
9回	眼の疾患②		24回	中毒②	
10回	眼の疾患③		25回	中毒③	
11回	皮膚疾患①		26回	担がん動物の看護①	
12回	皮膚疾患②		27回	担がん動物の看護②	
13回	皮膚疾患③		28回	担がん動物の看護③	
14回	前期授業内容に基づくまとめ		29回	後期授業内容に基づくまとめ	
15回	前期筆記試験・総評・まとめ		30回	後期筆記試験・総評・まとめ	
備考	1年次通年、2年次通年 科目合計2単位				

授業科目	動物臨床検査学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(通年)	必修	講義・演習	1単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子・竹口 真梨				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師資格取得し、動物看護業務に従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得し、動物病院にて勤務 【竹口】動物病院に勤め医療に従事、愛玩動物看護師				
授業目的	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する				
達成目標	動物病院業務に必要な各種検査の知識を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第4巻/緑書房 ・ 動物看護実習テキスト第3版/エデュワードプレス				
参考書	犬と猫の血液学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	実習に臨む前の心構え	16回	細胞診		
2回	検体の採取法・取り扱い①	17回	病理学的検査		
3回	検体の採取法・取り扱い②	18回	微生物学的検査		
4回	顕微鏡操作法	19回	血液凝固検査		
5回	尿検査の理論・手技①	20回	内分泌検査		
6回	尿検査の理論・手技②	21回	免疫学的検査		
7回	糞便検査の理論・手技①	22回	遺伝子検査		
8回	糞便検査の理論・手技②	23回	骨髄検査		
9回	血液検査の理論・手技①	24回	検体検査まとめ①		
10回	血液検査の理論・手技②	25回	検体検査まとめ②		
11回	血液検査の理論・手技③	26回	検体検査まとめ③		
12回	血液検査の理論・手技④	27回	検体検査まとめ④		
13回	簡易検査キットの種類・理論	28回	検体検査まとめ⑤		
14回	前期まとめ	29回	後期まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物医療コミュニケーション				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	竹口 真理				
実務経験歴	愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	日常健康管理に関わる飼い主教育、院内におけるほかのスタッフとのコミュニケーションの基礎を身につける。				
達成目標	動物の予防・管理について適切に指導でき、院内（チーム内）でのマナー、コミュニケーションが円滑に行える。				
授業時間外に必要な学修	自己のコミュニケーションやマナー、言葉づかい等を検討、評価してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物病院スタッフのための院内コミュニケーション基礎知識編・実践編/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	クライアントエデュケーションの目的と概要				
2回	犬・猫の予防①（狂犬病、混合ワクチン）				
3回	犬・猫の予防②（フィラリア、ノミ・マダニ、不妊去勢）				
4回	クライアントエデュケーション演習				
5回	院内コミュニケーション①（コミュニケーションとは、身だしなみ、言葉づかい）				
6回	院内コミュニケーション②（受付でのコミュニケーション）				
7回	院内コミュニケーション③（電話対応）				
8回	院内コミュニケーション④（診察室でのコミュニケーション）				
9回	院内コミュニケーション⑤（スタッフコミュニケーション①）				
10回	院内コミュニケーション⑥（スタッフコミュニケーション②）				
11回	院内マネジメント①（目的と役割）				
12回	院内マネジメント②（院内スタッフのメンタルヘルスとセルフケア）				
13回	グリーンケア				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	愛玩動物学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	一般に飼養できる愛玩動物（ペット）の生態、知識の習得と、動物関連の法律について学ぶ。				
達成目標	愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指す。				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要	16回	犬の適正な飼養管理方法		
2回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	17回	犬の適正な飼養管理方法		
3回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	18回	猫の適正な飼養管理方法		
4回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	19回	猫の適正な飼養管理方法		
5回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	20回	愛玩鳥・エキゾチック動物の適切な飼養管理		
6回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	21回	愛玩鳥・エキゾチック動物の適切な飼養管理		
7回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	22回	動物の基本的な取り扱い		
8回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	23回	動物の基本的な取り扱い		
9回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	24回	動物の基本的な取り扱い		
10回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	25回	動物の基本的な取り扱い		
11回	血統と血統書について	26回	動物の基本的な取り扱い		
12回	使役動物の歴史と福祉	27回	動物の基本的な取り扱い		
13回	使役動物の歴史と福祉	28回	動物の基本的な取り扱い		
14回	補助犬の歴史と福祉	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験・振り返り	30回	後期定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	人と動物の関係学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	動物が人間社会で果たしている役割や背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から実態、課題を含め理解する				
達成目標	人と動物の関係性について諸側面より理解できる				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要				
2回	動物飼養・利用の歴史				
3回	日本における動物観、動物との関りと現状				
4回	欧米等諸外国における動物観、動物との関りと現状				
5回	日本と諸外国における動物観、動物との関り方の相違				
6回	人間の福祉と愛玩動物の関わり				
7回	動物虐待、多頭飼育崩壊等動物福祉について				
8回	愛玩動物が高齢者、児童に与える恩恵及び人間の加齢に伴う飼養困難等の実情				
9回	動物介在活動の目的・内容・効果・影響と実際				
10回	動物介在療法の目的・内容・効果・影響と実際				
11回	動物介在教育の目的・内容・効果・影響と実際				
12回	動物介在活動、療法、教育に使用される公衆衛生学的適正、行動学的適正				
13回	学校飼育動物の目的や実態				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	適正飼養指導論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	菊地三恵				
実務経験歴	大学、専門学校での動物行動学、生命倫理・福祉、人と動物の関係学の講義、動物病院での問題行動コンサルティング、パピークラスなど				
授業目的	1年次で学習した愛玩動物（ペット）や法律等の知識を、さらに専門的に学習していく。				
達成目標	愛玩動物の飼養・適正飼養の推進・災害危機管理と支援について理解する				
授業時間外に必要な学修	遺伝、病気、感染症の知識を深めるために、獣医、動物看護師から話を聞く機会を設けたり、新聞等で普段から感染症の流行に注目するなど、自ら情報を収集したりすることが重要である。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	定期試験（80%）、授業態度（20%）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要	16回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
2回	愛玩動物の適正飼養のニーズ・目的・概念についての理解	17回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
3回	愛玩動物の適正飼養のニーズ・目的・概念についての理解	18回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
4回	愛玩動物飼養の現状	19回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
5回	愛玩動物飼養の現状	20回	動物取扱業者における適正飼養		
6回	愛玩動物飼養の現状	21回	動物取扱業者における適正飼養		
7回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	22回	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策		
8回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	23回	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策		
9回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	24回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
10回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	25回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
11回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	26回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
12回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	27回	災害時の同行避難の重要性の理解と説明		
13回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	28回	災害時の同行避難の重要性の理解と説明		
14回	前期まとめ、定期試験対策	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験・振り返り	30回	後期定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物生活環境学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	菊地三恵				
実務経験歴	大学、専門学校での動物行動学、生命倫理・福祉、人と動物の関係学の講義、動物病院での問題行動コンサルティング、パピークラスなど				
授業目的	伴侶動物（愛玩動物）のニーズに合わせた生活環境を提供することが人と動物が豊かに暮らすことにつながることを理解する				
達成目標	アニマルウェルフェアに基づく伴侶動物（愛玩動物）に必要な生活環境を理解し、様々な環境において対応できる知識を習得する				
授業時間外に必要な学修	事前にテキストを一読しておく				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	出席率10%、日常態度（提出物を含む）10%、定期試験80%				
授業内容とスケジュール					
1回	アニマルウェルフェア（動物福祉）を考える				
2回	犬のニーズとは				
3回	猫のニーズとは				
4回	犬の飼育環境整備の方法と注意点				
5回	猫の飼育環境整備方法と注意点				
6回	ペットツーリズム関連施設とドッグラン				
7回	英国の保護収容施設について				
8回	保護収容施設の環境整備と管理の方法				
9回	伴侶動物の社会化とトレーニングの意義と必要性				
10回	社会化トレーニングの種類と方法				
11回	伴侶動物のトレーニングと施設				
12回	動物介在教育とリスクマネジメント				
13回	動物飼育施設の環境整備				
14回	伴侶動物飼育マナーの必要性とリスク				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	ペット関連産業概論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	ペット関連産業従事者としての職業倫理、行動倫理の理解。ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識、手法の習得				
達成目標	ペット関連産業従事者の職業・行動倫理の理解。動物取扱責任者の実践的知識、技術が習得できる				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要				
2回	ペット関連産業における職業倫理				
3回	責任と社会的役割				
4回	商取引における関連法規の概要理解				
5回	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法				
6回	ペット飼養実態と市場規模				
7回	ペット飼養実態及びペット関連産業の概要・市場規模				
8回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
9回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
10回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
11回	動物取扱業制度の概要				
12回	動物取扱責任者として必要な実践的知識				
13回	動物取扱責任者としての動物取り扱い方法や衛生管理に係る手法				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物形態機能学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次通年	必修	座学・演習	1
担当教員	初島 明香				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格。動物病院勤務経験。				
授業目的	動物の体の作りを実際の標本を元に学ぶ				
達成目標	動物を構成しているものの種類や数、形状を説明できる。顕微鏡を取り扱えるようになる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験 (8割) ・授業態度 (2割)				
授業内容とスケジュール					
1回	実習についての説明				
2回	骨格標本を用いた実習・筋肉について				
3回	内部臓器について				
4回	顕微鏡の使い方				
5回	血液塗抹標本				
6回	組織標本 (総論)				
7回	組織標本 (消化器) (循環器)				
8回	組織標本 (神経系) (感覚器)				
9回	顕微鏡標本まとめ				
10回	骨学の復習・筋学の復習				
11回	内部臓器の復習				
12回	顕微鏡実習 1				
13回	顕微鏡実習 2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り				
備考					

授業科目	動物内科看護学実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香 ・ 金江 早智 ・ 竹口 真理 ・ 民井 泉希				
実務経験歴	【田中】 獣医師、小動物臨床に従事 【金江】 愛玩動物看護師、動物看護業務に従事 【竹口】 愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事 【民井】 愛玩動物看護師、動物看護業務に従事				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の基本的取り扱い（飼育環境、飼育管理、安全なハンドリング）	16回	動物に応じた安全なハンドリング		
2回	身体検査（全身状態）	17回	診療補助（採血・採尿）		
3回	身体検査（バイタル）	18回	全身状態・バイタルサインの評価（内容確認）		
4回	診療補助（採血保定）	19回	全身状態・バイタルサインの評価（演習）		
5回	診療補助（採血保定）	20回	薬剤の取り扱い		
6回	診療補助（採血保定）	21回	薬剤の投与方法		
7回	診療補助（採血保定）	22回	注射法、注射器の扱い		
8回	診療補助（保定）	23回	輸液に関わる技術①		
9回	診療補助（保定）	24回	輸液に関わる技術②		
10回	診療補助（保定）	25回	輸液に関わる技術③		
11回	診療補助（保定）	26回	輸液に関わる技術④		
12回	動物の基本的取り扱い（グルーミング）	27回	輸液ポンプ、シリンジポンプの設置（演習）		
13回	動物の基本的取り扱い（グルーミング）	28回	輸液中の動物の看護		
14回	講義まとめ	29回	後期まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物内科看護学実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	田中 里香・初島 明香				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得、小動物臨床に従事 【初島】 愛玩動物看護師、動物病院にて勤務				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	身体検査、バイタルチェック（ふりかえり）				
2回	日常のお手入れ				
3回	飼育環境整備および衛生管理				
4回	犬の保定				
5回	猫の保定				
6回	薬剤の取り扱い、投薬法				
7回	採血実習				
8回	採血・採尿実習				
9回	輸液・輸血に関わる技術				
10回	計算問題・POMR, SOAPについて				
11回	生体検査時の補助や保定				
12回	神経学的検査				
13回	各種保定おさらい				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ				
備考					

授業科目	動物内科看護学実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	竹口 真理・外山 朋子				
実務経験歴	【竹口】愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院に従事				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で出来るようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物に応じた安全なハンドリング				
2回	基本的なグルーミング、飼育環境の整備				
3回	全身状態・バイタルサインの評価（内容確認）				
4回	全身状態・バイタルサインの評価（演習）				
5回	診察室の管理				
6回	基本保定（演習）				
7回	薬剤の取り扱い				
8回	薬剤の投与方法				
9回	注射法、注射器の扱い				
10回	留置針、輸液の準備				
11回	留置針、輸液の設置方法				
12回	輸液ポンプ・シリンジポンプの設置（演習）				
13回	輸液中の動物の看護				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床検査学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子・竹口真梨・田中 里香・初島 明香				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院に従事 【竹口】愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事 【田中】獣医師免許修得、小動物臨床に従事 【初島】愛玩動物看護師、動物病院にて勤務				
授業目的	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方、動物看護師の役割など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	検査に必要な検体の採取や検査の補助が、的確・迅速に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動、性格を観察し、個体に合った検体の採取法や検査の進め方を考察してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書第4巻/緑書房 ・ 動物看護実習テキスト第3版/エデュワードプレス				
参考書	犬と猫の血液学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	実習に臨む前の心構え	16回	細胞診の検体処理法と標本作成		
2回	検体の取り扱い・採取法①	17回	病理学的検査の検体処理法と標本作成		
3回	検体の取り扱い・採取法②	18回	微生物学的検査		
4回	顕微鏡操作	19回	尿検査③		
5回	血液検査①	20回	尿検査④		
6回	血液検査②	21回	糞便検査③		
7回	血液検査③	22回	糞便検査④		
8回	血液検査④	23回	血液検査⑤		
9回	尿検査①	24回	血液検査⑥		
10回	尿検査②	25回	血液検査⑦		
11回	糞便検査①	26回	血液検査⑧		
12回	糞便検査②	27回	振り返り演習		
13回	簡易キットを用いた検査	28回	振り返り演習		
14回	前期まとめ	29回	後期まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

動物外科看護学実習 I					
授業科目	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	津村 大修 ・ 田中 里香 ・ 初島 明香 ・ 竹口 真梨				
実務経験歴	【津村】 獣医師免許修得、津村動物病院院長 【田中】 獣医師免許修得後、小動物臨床に従事 【初島】 愛玩動物看護師、動物病院にて勤務 【竹口】 愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	修得した知識の実践力を身に付ける				
達成目標	手術準備や術中、術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	動物看護実習テキスト／インターズー 愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	実習態度20%、試験80%				
授業内容とスケジュール					
1回	術前検査（血液検査）	16回	救命救急		
2回	術前検査（血液検査）	17回	救命救急		
3回	術前検査（血液検査）	18回	麻酔管理		
4回	術前検査（血液検査）	19回	麻酔管理		
5回	術前準備	20回	術中モニタリング		
6回	術前準備	21回	術中モニタリング		
7回	術前準備	22回	術後管理		
8回	術前準備	23回	実践的な実習		
9回	一般的な手術器具	24回	実践的な実習		
10回	一般的な手術器具	25回	外科実習①		
11回	一般的な手術器具	26回	外科実習②		
12回	手術の流れ	27回	外科実習②		
13回	術中モニタリング①	28回	外科実習②		
14回	術中モニタリング②	29回	外科実習③		
15回	定期試験、振り返り	30回	振り返り		
備考					

授業科目	動物外科看護学実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	修得した知識の実践力を身に付ける				
達成目標	手術準備や術中、術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	動物看護実習テキスト／インターズー 愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房□				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	筆記試験80%、実習態度20%				
授業内容とスケジュール					
1回	動物外科看護学実習Ⅰ 振り返り①				
2回	動物外科看護学実習Ⅰ 振り返り②				
3回	外科実習①				
4回	外科実習②				
5回	外科実習③				
6回	外科実習④				
7回	外科実習⑤				
8回	外科実習⑥				
9回	外科実習⑦				
10回	外科実習⑧				
11回	外科実習⑨				
12回	外科実習⑩				
13回	外科実習⑪				
14回	期末試験・まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床看護学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得後、小動物臨床に従事				
授業目的	動物看護過程や疾病別の看護等、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。				
達成目標	動物看護過程や疾病別の看護等、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得できる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物看護過程の実践（事例演習）	16回	入院動物の管理・アセスメント		
2回	事例を通して動物看護アプローチの個性性の理解	17回	入院動物の管理・アセスメント		
3回	看護動物の生活環境が健康に及ぼす影響の理解	18回	ケージの清掃・管理		
4回	症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響の理解	19回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
5回	看護動物の看護上の問題を理解、優先順位の選定	20回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
6回	看護動物の看護上の問題を理解、優先順位の選定	21回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
7回	看護動物の援助内容・方法の立案	22回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
8回	看護動物の援助内容・方法の立案	23回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
9回	動物看護計画の作成	24回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
10回	動物看護計画の作成	25回	褥瘡を持つ動物の看護		
11回	動物看護計画の作成	26回	褥瘡を持つ動物の看護		
12回	動物看護記録の作成	27回	動物の体位変換		
13回	動物看護記録の作成	28回	動物の体位変換		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物臨床検査学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方、動物看護師の役割など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	検査に必要な検体の採取や検査の補助が、的確・迅速に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動、正確を観察し、個体に合った検体の採取法や検査の進め方を考察してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房□				
参考書	犬と猫の血液学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	動物病院で行う検査と動物看護師の役割	16回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
2回	検体の取り扱い	17回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
3回	検体の採取法	18回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
4回	検体検査演習①	19回	生体検査の種類と方法(基礎)		
5回	検体検査演習②	20回	生体検査の種類と方法(応用)		
6回	検体検査演習③	21回	各生体検査のポジショニングと保定①		
7回	検体検査演習④	22回	各生体検査のポジショニングと保定②		
8回	フィラリア症の検査	23回	各生体検査のポジショニングと保定③		
9回	簡易検査キットで検出できる感染症	24回	各生体検査のポジショニングと保定④		
10回	簡易検査キットで検出できる感染症	25回	振り返り演習		
11回	内分泌検査	26回	振り返り演習		
12回	内分泌検査	27回	振り返り演習		
13回	免疫学的検査	28回	振り返り演習		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができる				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房□				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	飼育施設 脱出等の事故防止や安全な設備				
2回	飼育施設 衛生的な管理				
3回	飼育施設 動物が本来の行動を表現する設備				
4回	飼育施設 動物の治療などの手当てを容易にする構造				
5回	動物種毎の適切な飼育方法				
6回	動物種毎の適切な飼育方法				
7回	動物種毎の適切な飼育方法				
8回	動物種毎の適切な飼育方法				
9回	動物種毎の適切な飼育方法				
10回	動物種毎の適切な飼育方法				
11回	動物種毎の適切な飼育方法				
12回	動物種毎の適切な飼育方法				
13回	動物種毎の適切な飼育方法				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	竹口 真梨・初島 明香				
実務経験歴	【竹口】愛玩動物看護師・愛玩動物飼養管理士1級 【初島】愛玩動物看護師				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができ、飼い主への適切な指導ができる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	グルーミング基礎				
2回	グルーミング基礎				
3回	基本的なグルーミング				
4回	基本的なグルーミング				
5回	基本的なグルーミング				
6回	基本的なグルーミング				
7回	基本的なグルーミング				
8回	基本的なグルーミング				
9回	動物愛護センター				
10回	動物愛護センター				
11回	動物愛護センター				
12回	動物愛護センター				
13回	基本的なグルーミング				
14回	基本的なグルーミング				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができ、飼い主への適切な指導ができると共に、動物取扱業における実践的対応を身に着ける				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房□				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ 振り返り				
2回	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ 振り返り				
3回	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援について				
4回	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援について				
5回	災害時等避難に対し、避難所等支援について				
6回	災害時等避難に対し、避難所等支援について				
7回	動物愛護管理行政の理解				
8回	動物愛護管理センターの役割・業務内容				
9回	動物愛護管理センターの実際				
10回	動物取扱業者の現状と課題				
11回	動物取扱業者への指導内容				
12回	動物取扱業における顧客等への対応について				
13回	動物取扱業における顧客等への対応について（演習）				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物看護総合実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	演習	1単位
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	16回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	17回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	18回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	19回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	20回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	21回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	22回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	23回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	24回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	25回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	26回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	27回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	28回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	29回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	30回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実務経験歴</p> <p>授業目的 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>達成目標 愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p> <p>授業時間外に必要な学修</p> <p>テキスト</p> <p>参考書</p> <p>成績評価(割合)</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
32回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
33回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
34回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
35回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
36回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
37回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
38回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員					
実務経験歴					
授業目的	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。				
達成目標	愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	16回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	21回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	17回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	22回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	18回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	23回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	19回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	24回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	20回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	25回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	21回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	26回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	22回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	27回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	23回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	28回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	24回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	29回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	25回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	30回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	26回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	27回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	28回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	29回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	30回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
32回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
33回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
34回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
35回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
36回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
37回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
38回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					

授業科目	動物飼養管理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	広島市安佐動物公園勤務時に、小動物からトラ、サイまでを飼育。国内外の多くの動物園と協力して希少動物の種の保存に努め、繁殖目的の動物交換などを実施。最終職位、種の保存・繁殖担当課長。（社）日本動物園水族館協会生物多様性委員会元委員（有蹄類類別調整者）				
授業目的	野生動物、家畜などの飼育を、どのようにして動物の健康安全福祉を向上させて効率的におこなうか、その科学について考える。				
達成目標	動物を飼育するうえでの基本的な知識を習得し、愛玩動物看護師国家資格の取得を目指す。				
授業時間外に必要な学修	座学だけでなく現実の状況を知るため、いろいろなメディアからの情報を積極的に取り込み、授業で学んだ知識をもとに理解を深める。				
テキスト					
参考書	動物園動物管理学（文永堂出版）、飼育ハンドブック（日本動物園水族館協会）				
成績評価(割合)	定期試験（80%）、授業態度（20%）				
授業内容とスケジュール					
1回	肉食動物の収容施設（脱出防止・事故防止・健康管理・福祉など）	16回	繁殖と生殖器官		
2回	草食動物の収容施設（脱出防止・事故防止・健康管理・福祉など）	17回	繁殖生理学		
3回	鳥類・は虫両生類の収容施設（脱出防止・事故防止・健康管理・福祉）	18回	人工授精・クローニングによる繁殖		
4回	収容施設の環境（防疫、衛生面、快適性など）	19回	繁殖行動と繁殖戦略		
5回	草食動物の形態学	20回	草食動物の環境エンリッチメントと動物福祉		
6回	肉食動物の形態学	21回	肉食動物の環境エンリッチメントと福祉		
7回	肉食動物の捕獲・保定	22回	草食動物のハズバンドリートレーニング		
8回	草食動物の捕獲・保定	23回	肉食動物のハズバンドリートレーニング		
9回	動物輸送（動物の安全・健康、事故防止）	24回	動物飼育展示の歴史		
10回	大型動物（キリン、サイ、ソウなど）の輸送（輸送檻の構造、捕獲法 安全性など）	25回	新しい動物の展示法		
11回	草食動物の消化器官（反芻動物と反芻しない動物など）	26回	生物絶滅の歴史・第6絶滅期とは		
12回	草食動物の栄養学	27回	絶滅危惧種と種の保存		
13回	肉食動物の栄養学	28回	絶滅危惧種の飼育と繁殖（近親繁殖の問題、遺伝学）と野生復帰（コウノトリ トキなど）		
14回	前期まとめ、定期試験対策	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験	30回	後期定期試験		
備考					

就職試験対策

授業科目	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義	1単位
担当教員	東田 大樹				
実務経験歴	各種学校における就職支援に10年従事 年間約300コマ以上講義				
授業目的	社会人として社会で活躍するために一般的な常識や必要な知識について、就職筆記試験を通して学ぶ。				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な就職筆記試験の問題を知る。 ・就職筆記試験対策として、どんな準備をすればよいか理解し、行動できる。 				
授業時間外に必要な学修	日頃から社会で起こる出来事に興味関心を持ち、幅広い知識を探求する。				
テキスト	ファーストボイスオリジナルテキスト				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	筆記試験概要説明、模擬試験	16回	非言語（推論）		
2回	模擬試験解説	17回	C A B		
3回	言語（二語の関係）	18回	G A B		
4回	非言語（計算基礎：四則）	19回	公務員 一般知能分野（判断推理）		
5回	言語（熟語）	20回	公務員 一般知能分野（判断推理）		
6回	非言語（計算基礎：少数・分数）	21回	公務員 一般知能分野（数的推理）		
7回	言語（読解力）	22回	公務員 一般知能分野（数的推理）		
8回	非言語（計算基礎：1次関数）	23回	公務員 一般知識分野（社会分野）		
9回	非言語 （計算基礎：文字を使った計算）	24回	公務員 一般知識分野（社会分野）		
10回	非言語（速さ）	25回	公務員 一般知識分野（理科分野）		
11回	非言語（濃度）	26回	公務員 一般知識分野（理科分野）		
12回	非言語（割合・比）	27回	一般常識		
13回	英語（単語・熟語）	28回	一般常識		
14回	非言語（推論）	29回	試験対策		
15回	英語（文章読解）	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	人と動物のコミュニケーション学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	人と動物（家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物などを含む）の関係とコミュニケーションのあり方の基本について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係の基礎について理解する。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、人との関係性について考えてみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	授業主旨説明	16回	前期振り返り・まとめ		
2回	人と動物の関係の歴史	17回	家畜と人との関係		
3回	人と動物の関係の歴史	18回	家畜と人との関係		
4回	人から見た動物(動物観)	19回	野生動物と人との関係		
5回	人から見た動物(動物観)	20回	野生動物と人との関係		
6回	動物から見た人	21回	伴侶動物と人との関係		
7回	動物から見た人	22回	伴侶動物と人との関係		
8回	人と動物との軋轢	23回	飼育動物と人との関係		
9回	人と動物との軋轢	24回	飼育動物と人との関係		
10回	人と動物とのコミュニケーション	25回	動物園飼育動物と人との関係		
11回	人と動物とのコミュニケーション	26回	動物園飼育動物と人との関係		
12回	人と動物の共生	27回	各動物とのコミュニケーション		
13回	人と動物の共生	28回	各動物とのコミュニケーション		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	人と動物のコミュニケーション学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物コミュニケーションⅠと動物コミュニケーションⅡで学んだ知識をもとに、人と動物との関係とコミュニケーションの研究手法、データ分析の方法、まとめ方、発表方法について学ぶ。				
達成目標	人と動物との関係（コミュニケーション）の研究手法について理解し、実際に研究を立案して遂行する力、行動データの分析して、その結果をまとめて発表できる力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、人との関係性について考えてみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	授業主旨説明		16回	前期振り返り・まとめ	
2回	人と動物との関係の研究の立案		17回	人と動物との関係の研究に必要な統計学	
3回	人と動物との関係の研究の立案		18回	人と動物との関係の研究に必要な統計学	
4回	人と動物との関係の研究方法の設定		19回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析	
5回	人と動物との関係の研究方法の設定		20回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析	
6回	フィールド調査のための準備		21回	分析結果の解釈	
7回	フィールド調査のための準備		22回	分析結果の解釈	
8回	フィールド調査の実際		23回	結果の考察	
9回	フィールド調査の実際		24回	結果の考察	
10回	フィールドデータの収集方法		25回	研究論文の書き方	
11回	フィールドデータの収集方法		26回	PP作成方法	
12回	収集データの保存		27回	発表方法・準備	
13回	収集データの保存		28回	発表方法・準備	
14回	まとめ		29回	発表・まとめ	
15回	期末試験・振り返り・総評		30回	期末試験・振り返り・総評	
備考					

授業科目	動物飼育技術学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物その飼育施設、飼育環境などを安全面や動物福祉に注目して学ぶ。また、繁殖や飼料、健康管理について考える。				
達成目標	動物の飼育を、健康管理、また、その動物の習性に合った環境について考えて飼育することを学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	自己のコミュニケーションやマナー、言葉づかい等を検討、評価してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	飼育施設 脱出等の事故防止や安全な設備				
2回	飼育施設 衛生的な管理				
3回	飼育施設 動物が本来の行動を表現する設備				
4回	飼育施設 動物の治療などの手当てを容易にする構造				
5回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
6回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
7回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
8回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
9回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
10回	飼育環境の整備－環境エンリッチメント				
11回	飼育環境の整備－環境エンリッチメント				
12回	動物展示法の歴史				
13回	展示法－ランドスケープイマージョン				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	国家試験対策				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（後期）	必修	講義	1単位
担当教員					
実務経験歴					
授業目的	愛玩動物看護師国家試験合格に向けた対策				
達成目標	愛玩動物看護師国家試験合格に向けた対策				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	16回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
2回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	17回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
3回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	18回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
4回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	19回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
5回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	20回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
6回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	21回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
7回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	22回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
8回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	23回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
9回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	24回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
10回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	25回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
11回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	26回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
12回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	27回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
13回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	28回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
14回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	29回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
15回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	30回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
備考					

授業科目	総合研究 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(前期)	必修	講義	1
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション		16回	個別・グループ研究	
2回	研究テーマ選定		17回	個別・グループ研究	
3回	研究テーマ決定・研究方法の検		18回	個別・グループ研究	
4回	個別・グループ研究		19回	個別・グループ研究	
5回	個別・グループ研究		20回	個別・グループ研究	
6回	個別・グループ研究		21回	個別・グループ研究	
7回	個別・グループ研究		22回	個別・グループ研究	
8回	個別・グループ研究		23回	個別・グループ研究	
9回	個別・グループ研究		24回	個別・グループ研究	
10回	個別・グループ研究		25回	個別・グループ研究	
11回	個別・グループ研究		26回	個別・グループ研究	
12回	個別・グループ研究		27回	個別・グループ研究	
13回	個別・グループ研究		28回	個別・グループ研究	
14回	個別・グループ研究		29回	研究発表	
15回	個別・グループ研究		30回	研究発表	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション		16回	個別・グループ研究	
2回	研究テーマ選定		17回	個別・グループ研究	
3回	研究テーマ決定・研究方法の検		18回	個別・グループ研究	
4回	個別・グループ研究		19回	個別・グループ研究	
5回	個別・グループ研究		20回	個別・グループ研究	
6回	個別・グループ研究		21回	個別・グループ研究	
7回	個別・グループ研究		22回	個別・グループ研究	
8回	個別・グループ研究		23回	個別・グループ研究	
9回	個別・グループ研究		24回	個別・グループ研究	
10回	個別・グループ研究		25回	個別・グループ研究	
11回	個別・グループ研究		26回	個別・グループ研究	
12回	個別・グループ研究		27回	個別・グループ研究	
13回	個別・グループ研究		28回	個別・グループ研究	
14回	個別・グループ研究		29回	個別・グループ研究	
15回	個別・グループ研究		30回	個別・グループ研究	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	オリエンテーション		46回	個別・グループ研究	
32回	研究テーマ選定		47回	個別・グループ研究	
33回	研究テーマ決定・研究方法の検		48回	個別・グループ研究	
34回	個別・グループ研究		49回	個別・グループ研究	
35回	個別・グループ研究		50回	個別・グループ研究	
36回	個別・グループ研究		51回	個別・グループ研究	
37回	個別・グループ研究		52回	個別・グループ研究	
38回	個別・グループ研究		53回	個別・グループ研究	
39回	個別・グループ研究		54回	個別・グループ研究	
40回	個別・グループ研究		55回	個別・グループ研究	
41回	個別・グループ研究		56回	個別・グループ研究	
42回	個別・グループ研究		57回	個別・グループ研究	
43回	個別・グループ研究		58回	個別・グループ研究	
44回	個別・グループ研究		59回	個別・グループ研究	
45回	個別・グループ研究		60回	個別・グループ研究	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
61回	オリエンテーション		76回	個別・グループ研究	
62回	研究テーマ選定		77回	個別・グループ研究	
63回	研究テーマ決定・研究方法の検		78回	個別・グループ研究	
64回	個別・グループ研究		79回	個別・グループ研究	
65回	個別・グループ研究		80回	個別・グループ研究	
66回	個別・グループ研究		81回	個別・グループ研究	
67回	個別・グループ研究		82回	個別・グループ研究	
68回	個別・グループ研究		83回	個別・グループ研究	
69回	個別・グループ研究		84回	個別・グループ研究	
70回	個別・グループ研究		85回	個別・グループ研究	
71回	個別・グループ研究		86回	個別・グループ研究	
72回	個別・グループ研究		87回	個別・グループ研究	
73回	個別・グループ研究		88回	個別・グループ研究	
74回	個別・グループ研究		89回	個別・グループ研究	
75回	個別・グループ研究		90回	個別・グループ研究	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
91回	オリエンテーション	106回	個別・グループ研究		
92回	研究テーマ選定	107回	個別・グループ研究		
93回	研究テーマ決定・研究方法の検	108回	個別・グループ研究		
94回	個別・グループ研究	109回	個別・グループ研究		
95回	個別・グループ研究	110回	個別・グループ研究		
96回	個別・グループ研究	111回	個別・グループ研究		
97回	個別・グループ研究	112回	個別・グループ研究		
98回	個別・グループ研究	113回	個別・グループ研究		
99回	個別・グループ研究	114回	個人・グループ別研究発表準備		
100回	個別・グループ研究	115回	個人・グループ別研究発表準備		
101回	個別・グループ研究	116回	個人・グループ別研究発表準備		
102回	個別・グループ研究	117回	個人・グループ別研究発表準備		
103回	個別・グループ研究	118回	個人・グループ別研究発表		
104回	個別・グループ研究	119回	個人・グループ別研究発表		
105回	個別・グループ研究	120回	個人・グループ別研究発表		
備考					